

第10回府中市中心市街地活性化協議会 議事の概要

1 日 時 平成28年3月24日(木) 午後3時30分～午後4時00分

2 場 所 市役所北庁舎3階 第1・2会議室

3 出席者

(1) 委員

青山会長

中井副会長

宮委員

加藤委員

竹田委員

大津委員

高橋委員

榎ヶ峠委員

秋山委員

猿渡委員

(2) 事務局

佐伯経済観光課長

市川地域安全対策課長

小塚地域安全対策課長補佐

前島環境政策課長

江口ふるさと文化財課長

黒澤ふるさと文化財課長補佐

楠本計画課長

町井計画課長補佐

下田計画課主任

瀬野計画課事務職員

塩澤土木課長補佐

角倉公園緑地課長

轟地区整備課長

《欠席》

・並木委員

4 まとめ

4-1 「東京競馬場タイアップ取組数」の目標数値確定について報告

●会長意見 ▲副会長意見 □委員意見 ○事務局 ■相談役

- 「協力店の増加」については、相当な機運があるということによいか。
- 今回のJRAと商工会議所の取組では、商店会への回覧に際して手を挙げられた方のみを対象としているので、協力店へのアンケートから、経営面に良い影響があるという捉え方をされているので、そういったところをお知らせしながらやっていけば、非常に広がっていくのではないかと認識を持っている。
- ▲ なかなか飛躍的な数字だが、「ア 利用期間の拡大」というのは、最大日数がそれだけ増えるということ。「イ 利用人数の拡大」は、3回に1回程度というのが入っているが開催日数には入っていない。単純に掛けると大きすぎるのではないかと。開催日数は5.5倍になるが、3回に1回程度の利用とするのであれば、実質2倍程度になるのではないかと。
- 変数の設定のため、利用期間の拡大についても設定しようと思えばできるが、実は、事務局で最大値の積み上げを行ったところ、約12万組となった。しかし、それではあまりに大きすぎるだろうということで、所管課や内閣府と調整して変数を設定している。
- ▲ 1万6千組が46日間に利用すると、単純計算で1日当たり350組程度。毎日400組も使うのか。
- 協力店を100店舗にするという目標があって、毎日、各店舗に2～3組程度ご利用いただければ1万6千組を達成できる。
- いずれにしても、Loveふちゅうの取組に相当期待している。
- ▲ まず、100店舗には増やしてもらわないといけない。
- 現在、府中駅南口でやっている再開発で、全てが飲食店ではないが約100店舗が入る。

4-2 内閣府との調整状況について報告

●会長意見 ▲副会長意見 □委員意見 ○事務局 ■相談役

- 136ページの「表10-9 近隣市の大規模集客施設に関する事業」について、これらの中で、特段警戒を要するというか、特段注目すべきものはあるか。
- 警戒というか、上手く連携をした方がよいというところで挙げると、「調布駅北第1A地区」。ここについては、もしかしたら府中とラップするサービスが入る可能性が非常に高い。警戒というよりも、京王線沿線で、調布も中心市街地活性化に取り組んでいるので、中心市街地活性化基本計画を使って、情報を発信しながら、どのように連携をしていくか調整する必要がある。
また、「国分寺駅北口地区」については、南北の行き来がバスとなるため、北側については、重心的に持って行かれやすいため、どういった機能が入るのかよくよく注意しながら、対応した方がよいと考えている。
- 近隣市で再開発が進むから一概にマイナス、プラスといったことは言えず、事務局からの答にもあったが、どのような連携をしていくかという観点は大切。
- 国分寺と府中を結ぶバスがあるのか。
- 京王バスの中では、最も多い路線。

4-3 その他

- ・今後のスケジュールについて平成28年度第1回協議会は、認定後の7月に開催予定。詳細については、日程調整の上、連絡する。